
僕とキミ

ガラクタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕とキミ

【ZPDF】

Z9920P

【作者名】

ガラクタ

【あらすじ】

愛する人のためならその恋、あきらめられますよね？

いつのことだったかな？　君の美しい瞳に何も映らなくなつたのは

：

ああ、もう5年は経つているね。

もうあの笑顔は、見れないのかい？

どうして、笑ってくれないんだい？

5年前までは、僕と一緒にいると絶えず笑つていたのにな。

”愛している“

なんていうと顔を赤くして笑つていたね。

君は、人がすごく怖つて僕に話してくれた。

だから、前からじやなくて僕はいつも後ろから抱きついていた。

そうすれば、いつも優しく笑つてくれたね。

そのくせ、僕が落ち込んでいる時は前から君は抱きついて頭を撫でてくれた。

子供なんかじゃないのにな。

僕といふと人も怖くないつて言つてくれたね。嬉しかつたよ。

あれは、嘘？　だったら、無理させちゃつたね。

君の笑顔がどんどん無くなつていいくのに

ごめんね。

…ごめん

でも、聞いたよね？　苦しくないかつて

僕は、隠し事は好きじやないんだ。

言いたいならいつてよ。

お願ひだ。もし僕といふと苦しいなら別れるよ。

それが君のためだ。

それでも、僕は

(後書き)

久しぶりのスラスラ書くことが出来ました。パツと思い浮かんだものですから、まとまつていないと私は（――；）最後書かなかつたのは、わざとなるので、別に書き忘れたわけではありませんよ（・・・ゞ）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9920p/>

僕とキミ

2011年1月12日22時14分発行